

科目名	生体機能代行装置学Ⅲ（代謝）②			授業の種類	講義演習	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 通年
【授業の目的・ねらい】 透析治療をはじめとした血液浄化療法全般について、社会的背景、病態、原理、操作、安全管理、臨床での実際を理解することを目的とする。本講義を通して、臨床に必要な知識全般を習得し臨床での即戦力になることを狙いとする。							
【実務者経験】 臨床工学技士として桃仁会病院に勤務。科長として、血液浄化業務に従事。							
【授業全体の内容の概要】 前期では透析治療における社会的背景、原理、基本的治療、安全管理を体系的に解説する。後期では、透析患者の合併症や薬剤、前期で学んだ内容が臨床でどう落とし込まれているか、血液透析以外の血液浄化療法（アフエレス）について解説する。講義の進捗に合わせた国家試験疑似問題を課題とする。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 血液透析治療における原理、治療、材料、安全・感染管理、合併症、薬剤、今後の問題点について述べるができる。アフエレス療法について原理と概要を述べるができる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
16	透析患者の合併症(心血管合併症、骨ミネラル代謝障害)について学ぶ						プロジェクタ
17	透析患者の合併症(腎性貧血、アミロイドーシス)について学ぶ						プロジェクタ
18	透析患者の合併症(不均衡症候群、RLS、掻痒感)について学ぶ						プロジェクタ
19	治療モード・透析膜選択の実際について学ぶ						プロジェクタ
20	ドライウエイトの設定と指標、透析低血圧に対する透析治療の工夫について学ぶ						プロジェクタ
21	保存期と導入後の食事制限、蛋白・エネルギー摂取や栄養指標について学ぶ						プロジェクタ
22	穿刺のポイント、VAIに関する血流機能評価、形態評価、理学所見について学ぶ						プロジェクタ
23	透析患者に投与される薬と服薬指導について学ぶ						プロジェクタ
24	透析治療における災害対策について学ぶ						プロジェクタ
25	透析治療における感染対策について学ぶ						プロジェクタ
26	腹膜透析における社会的背景や基礎、小児に対する透析治療の工夫について学ぶ						プロジェクタ
27	持続血液浄化療法の基礎と敗血症治療として役割について学ぶ						プロジェクタ
28	単純血漿交換、二重濾過膜血漿交換について基礎と適応疾患を学ぶ						プロジェクタ
29	LDLアフエレス、免疫吸着療法、活性炭吸着について基礎と適応疾患を学ぶ						プロジェクタ
30	後期講義内容について復習し、疑問点をなくす。						プロジェクタ
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 ・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 第2版、竹澤真吾 ほか、医歯薬出版株式会社 ・配布資料							
【準備学習・時間外学習】 準備学習：次回講義範囲について教科書を読んでおく 時間外学習：要点をレポートにまとめ提出する							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 提出物の評価を40点、定期試験を60点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する							